

戒ヲウケサル祖師アレトモ、此佛祖正傳密薩戒ヲウケサル祖師、イマヲアラス、カナラス受持スルナリ、

正法眼藏受戒

年號不記

正法眼藏四禪比丘

第十四祖龍樹祖師言、佛弟子中、有一比丘、得第四禪、生增上慢、謂得四果、初得初禪、謂得於須陀洹果、得第二禪時、謂是斯陀含果、得第三禪時、謂是阿那含果、得第四禪時、謂是阿羅漢、特是自高、不復求進、欲命盡時、見有四禪中陰相來、便生邪見、謂無涅槃、佛為欺我、惡邪見故、失四禪中陰、便見阿鼻泥犁中陰相、命終即生阿鼻泥犁中、諸比丘問佛曰、阿蘭若比丘、命終生何處、佛言、是生阿鼻泥犁中、諸比丘大驚、坐禪持戒、便至爾耶、佛如前答言、彼皆因增上慢、得四禪時、謂得四果、臨命終時、見四禪中陰相、便生邪見、謂無涅槃、我是羅漢、今還復生、佛為虛誑、是時即見阿鼻泥犁中陰相、命終即生阿鼻泥犁中、是時佛說偈言、多聞持戒禪、未得漏盡法、雖有此功德、此事難可信、墮獄由謗佛、非關第四禪、コノ比丘ヲ稱シ、四禪比丘トイフ、マタハ無聞比丘ト稱ス、四禪ヲニクルヲ四果ト僻計セルコトナイマシメ、マタ謗佛ノ邪見ヲイマシム、人大會ミナシレリ、如來在世ヨリ、今日ニイタルマテ、西天東地、トモニ是ニアラサルヲ是ト執セルナイマシムトシテ、四禪ヲエテ四果トオモフカコトシトアサケル、コノ比丘ノ不是、シハラク略舉スルニ三種アリ、第一ニハ、ミツカテ四禪ト四果トヲ分別スルニオヨハサル無聞ノ身ナカラ、イタツラニ師ヲハナレテ、ムナシク阿蘭若ニ獨處ス、サイハヒニコレ、如來在世ナリ、ツチニ佛所ニ詣シテ、常恒ニ見佛聞法セハ、カクノコトクアヤマリアルヘカラス、シカアルニ阿蘭若ニ獨處シテ、佛所ニ詣セス、ツチニ見佛聞法セサルニヨリテカク

自高、大論ニ而止ニ作ル

大論、下ニ惟此人ノ三字アリ、便至ヲ所由ノ二字ニ作ル

ノコトシタトヒ佛所ニ詣セストイフトモ諸大阿羅漢所ニイタリテ教訓ヲウクヘシイタツラ  
ニ獨處スル増上慢ノアヤマリナリ第二ニハ初禪ヲエテ初果トオモヒ二禪ヲエテ第二果トオ  
モヒ三禪ヲエテ第三果トオモヒ四禪ヲエテ第四果トオモフ第二ノアヤマリナリ初二三禪ノ  
相ト初二三果ノ相ト比類ニオヨハスタトルコトアランヤコレ無聞ノトカニヨレリ師ニツカ  
ヘスクラキニヨレルトカナリ

優婆塞多弟子中有一比丘信心出家獲得四禪謂爲四果。憍多方便令往化處。於路化作群賊。復化作  
五百買客。賊劫買客殺害狼藉。比丘見生憐。即便自念。我非羅漢。應是第三果。買客亡後。有長者女。語比  
丘言。唯願大德。與我共去。比丘答言。佛不許我與女人行。女言。我望大德而隨。其後比丘憐惑。相望而行。  
尊者次復變作大河。女人言。大德。可共我度。比丘在下流。女在上流。女便墮水。自言。大德。濟我。爾時比丘  
手接而出。生細滑想。起愛欲心。即自知非阿那含。於此女人。極生愛著。將向屏處。欲共交通。方見是師。生  
大慚愧。低頭而立。尊者語言。汝曾自謂是阿羅漢。云何欲爲如此惡事。將至僧中。教其懺悔。爲說法要。得  
阿羅漢。コノ比丘ハシメ生見ノアヤマリアレトモ殺害ノ狼藉ヲミルニオソレテ生ストキニ  
ワレ羅漢ニアラストオモフナホ第三果ナルヘシトオモフアヤマリアリノチニ細滑ノ想ニヨ  
リテ愛欲ノ心ヲ生スルニ阿那含ニアラストシルサラニ誘佛ノオモヒヲ生セフ。誘法ノオモヒ  
ナシ聖教ニソムクオモヒニアラス。四禪比丘ニハヒトシカラス。コノ比丘ハ聖教ヲ習學セルチ

秘本行ノ下  
ニ女言ノ二  
字ナク  
我ノ下ニ  
ノ字ナシ  
秘本欲ノ下  
ニ心ノ字ナ  
ク  
即ノ下ニ節  
ノ字アリ  
秘本モノ字  
ナシ

秘本ニ故知  
ハ二字ナシ

カラアルニヨリテミツカラ阿羅漢ニアラス。阿那含ニアラストシルナリイマノ無聞ノトモカ  
ラハ阿羅漢ハイカナリトモシラス。佛ハイカナリトモシラサルカユニミツカラ阿羅漢ニア  
ラス。佛ニアラストモシラス。ミクリニワレハ佛ナリトノミオモヒイフハオホイナルアヤマリ  
ナリ。フカキトカナルヘシ。學者マツスヘカラク佛ハイカナルヘシトナラフヘキナリ。  
古徳曰。故知習聖教者。薄知次位。縱生途濫。亦易開解。マコトナルカナ古徳ノ語。タトヒ生見ノア  
ヤマリアリトモスコシキモ佛法ヲ習學セラントモカラハミツカラニモ欺誑セラレシ。他人ニ  
モ欺誑セラレシ。

曾聞有人自謂成佛。待天不曉。謂爲魔障。曉已不見。梵王請說法。自知非佛。自謂是阿羅漢。又被他人罵  
之。心生異念。自知非是。阿羅漢。仍謂是第三果也。又見女人起欲想。知非聖人。此亦真由。知教相故。乃如  
是也。ソレ佛法ヲシルハカクノコトクミツカラカ非ヲ覺知シハヤクアヤマリヲナケスツ  
シラサルトモカラハ一生ムナシク愚蒙ノナカニアリ生ヨリ生ヲウクルモマタカクノコトク  
ナルヘシ。コノ優婆塞多ノ弟子ハ四禪ヲエテ四果トオモフトイヘトモサラニ我非羅漢ノ智ア  
リ無聞比丘モ臨命終ノトキ四禪ノ中陰ミユルコトアラシニ我非羅漢トシラハ誘佛ノ罪アル  
ヘカラス。イハンヤ四禪ヲエテノチヒサシナンソ四果ニアラストカヘリミシラサランステニ  
四果ニアラストシラハナンソアラタメサランイタツラニ僻計ニトトコホリムナシク邪見ニ

シツメリ、第三ニハ命終ノトキオホキナルアヤマリアリ、ソノトカフカクシテ、ヒニ阿鼻地獄  
 ニオチヌルナリ、タトヒキチンチ一生ノアヒク、四禪ヲ四果トオモヒキタレリトモ、臨命終ノトキ  
 四禪ノ中陰ミユルコトアラハ、一生ノアヤマリヲ懺悔シテ、四果ニハアラサリキトオモフヘシ  
 イカテカ佛ワレテ欺誑シテ、涅槃ナキニ涅槃アリト施設セサセタマフトオモフヘキ、コレ無聞  
 ノトカナリ、コレノツミステニ誘佛ナリ、コレヨリテ阿鼻ノ中陰現シテ、命終シテ阿鼻地獄ニオ  
 チヌ、タトヒ四果ノ聖者ナリトモ、イカテカ如來ニオコハシ、舍利弗ハヒサシクコレ四果ノ聖者  
 ナリ、三千大千世界所有ノ智慧ヲアツメテ、如來ヲソクダテマツリテ、ホカチ一分トシ、舍利弗  
 ノ智慧ヲ十六分ニセル一分ト、三千大千世界所有ノ智慧トテ格量スルニ、舍利弗ノ十六分ノ一  
 分ニオコハサルナリ、シカアレトモ、如來未曾説ノ法ヲトキマシマスチキキテ、前後ノ佛説コト  
 ニシテワレテ欺誑シマシマス、トオモハス、波旬無此事トホメタテマツル、如來ハ福増チワタシ  
 舍利弗ハ福増チワタサス、四果ト佛果ト、ハルカニコトナルコトカクノコトシ、タトヒ舍利弗オ  
 コヒモロモロノ弟子ノコトクナラン、十方界ニミチミテラントモ、佛智ヲ測量セソコトウヘ  
 カラス、孔老ニカクノコトクノ功德、イマタナシ、佛法ヲ習學センモノ、クレカ孔老ヲ測度ヒサラ  
 ノ、孔老ヲ習學スルモノ、佛法ヲ測量スルコト、イマタナシ、イマ大宋國ノトモカラオホク孔老ト  
 佛道ト一致ノ道理ヲタツ、佛見モトモフカキモノナリ、シモニマサニ廣説スヘシ、四禪比丘、ミツ

ヒサシク一  
 本ヒトリニ  
 作ル  
 一本シノ下  
 ニテノ字ア  
 リ

秘本ニ道ノ  
 字ナシ

秘本ハ下ノ  
 足ヲ也ニ作  
 ル

カラカ僻見ヲマコトトシテ、如來ノ欺誑シマシマス、トオモフナカク、佛道ヲ違背シタマツル  
 ナリ、愚癡ノハナハタシキ、六師等ニヒトシカルヘシ、  
 古徳曰、大師在世、尙有僻計生見之人、況滅度後、無師不得禪者、イマ大師トハ、佛世尊ナリ、マコト  
 ニ世尊在世出家受具セルナホ無聞ニヨリ、ハ僻計生見ノアヤマリノカレカ、タシ、イハンヤ、如  
 來滅後、五百歲、邊地下賤ノ時處、アヤマリナカラシ、ヤ、四禪ヲ發セ、ルモノ、ナホカクノコトシ、イ  
 ハンヤ、四禪ヲ發スルニオヨハス、イカツラニ貪名愛利ニシツメラシモノ、官途世路ヲムサホル  
 トモカラ、不足言ナルヘシ、イマ大宋國ニ寡聞愚鈍ノトモカラ、オホシカレラ、ガイハク、佛法ト孔  
 子老子ノ法ト一致ニシテ、異轍ニアラス、

大宋嘉泰中、有僧正受撰進普燈錄三十卷、曰、臣聞孤山智圓之言、曰、吾道如鼎也、三教如足、足一虧而  
 鼎覆焉、臣嘗慕其人、稽其說、乃知儒之爲教、其要在誠意、道之爲教、其要在虛心、釋之爲教、其要在見性、  
 誠意也、虛心也、見性也、異名同體、究厥攸歸、無適而不與此道會、云云、カクノコトク、僻計生見ノト  
 モカラ、ノミオホシ、智圓正受ノミニハアラス、コノトモカラ、ハ、四禪ヲニテ、四果トオモハシ、ヨリ  
 モソノアヤマリ、フカシ、誘佛誘法、誘僧ナルヘシ、ステニ撥無解脫ナリ、撥無三世ナリ、撥無因果ナ  
 リ、華蓋蕩蕩、招殃禍ウタガヒナシ、三寶四諦、四沙門果ナシトオモヒシトモカラ、ニヒトシ、佛法イ  
 マク、其要見性ニアラス、七佛、西天二十八祖、イツレノトコロニカ、佛法タタ見性ノミナリトアル、

六祖壇經ニ見性ノ言アリ、カノ書コレ偽書ナリ、付法藏ノ書ニアラス、曹谿ノ言句ニアラス、佛祖ノ兒孫、マタク依用セサル書ナリ、正受智圓、イマク佛法ノ一隅ヲシラサルニヨリテ、一鼎三足ノ邪計ヲナス、

古徳曰、老子、莊子、尙自未識小乘能著所著、能破所破、況大乘中、若著若破、是故不與佛法少同、然若世間愚者、迷於名相、濫禪者、惑於正理、欲將道德逍遙之名、齊於佛法解脫之說、豈可得乎、ムカシヨリ名相ニマヨフモノ、正理ヲシラサルトモカラ、佛法ヲモテ、莊子老子ニヒトシムルナリ、イササカモ佛法ノ稽古アルトモカラ、ハムカシヨリ、莊子老子ヲオモクスル、一人ナシ、

清淨法行經曰、月光菩薩、彼稱頌回、光淨菩薩、彼稱頌尼、迦葉菩薩、彼稱老子、云云、ムカシヨリ、經ノ說ヲ擧シテ、孔子老子等モ菩薩ナレハ、ソノ說ヒソカニ佛說ニオナシカルヘシ、イトトマテ佛ノツカヒナラン、ソノ說オノツカラ、佛說ナラントイフ、コノ說ミナ非ナリ、古徳曰、準諸目錄、皆推此經、以爲疑僞、云云、イマコノ說ニヨラ、ハイヨイヨ佛法ト孔老トコトナルヘシ、ステニコレ菩薩ナリ、佛果ニヒトシカルヘカラス、マク和光應迹ノ功德ハ、ヒトリ三世諸佛菩薩ノ法ナリ、俗塵凡夫ノ所能ニアラス、實業ノ凡夫、イカテカ應迹ニ自在アラシ、孔子イマク應迹ノ說ナシ、イハシヤ、孔老ハ先因ヲシラス、當果ヲトカス、ワツカニ一世ノ忠孝ヲモテ、キミニツカヘ家ヲササムル術ヲムチトスルナリ、サテニ後世ノ說ナシ、ステニコレ斷見ノ流類ナルヘシ、莊老ヲキラフニ小

乘ナホシラス、イハシヤ大乘ヲヤトイフハ、上古ノ明師ナリ、三教一致トイフハ、智圓正受ナリ、後代洩季愚闇ノ凡夫ナリ、ナンチナンノ勝出アレハカ、上古ノ先德ノ所說ヲサミシテ、ミタリニ佛法ト孔老トヒトシカルヘシトイフ、ナンクチカ所見スヘテ、佛法ノ通塞ヲ論スルニテ、ヘス、負笈シテ明師ニ參學スヘシ、智圓正受ナンチラ大小兩乘スヘテ、イマダシラサルナリ、四禪ヲエテ、四果トオモヒシヨリ、モクラシ、カナシムヘシ、洩風ノアフクトコロ、カクノコトクノ魔子オホカルコトナシ、

古徳曰、如孔丘、姬旦之語、三皇五帝之書、孝以治家、忠以治國、輔以利民、只是一世之内、不渡過未、未齊佛法之益於三世、豈不謬乎、マコトナルカナ古徳ノ語、ヨク佛法ノ至理ニ達セリ、世俗ノ道理ニアキラカナリ、三皇五帝ノ語、イマク轉輪聖王ノナシ、ハニオヨフヘカラス、梵王帝釋ノ說ニナラヘ論スヘカラス、統領スルトコロ所得ノ果報、ハルカニ劣ナルヘシ、輪王、梵王、帝釋、ナホ出家受具ノ比丘ニオヨハス、イカコイハシヤ、如來ニヒトシカラシヤ、孔丘、姬旦ノ書、マク天竺ノ十八大經ニオヨフヘカラス、四韋陀ノ典籍ニナラヘカタク、西天婆羅門教、イマク佛教ニヒトシカラス、ナリナホ小乘聲聞教ニヒトシカラス、アハレムヘシ、震旦小國邊方ニシテ、三教一致ノ邪說アルコトナシ、

第十四祖龍樹菩薩曰、大阿羅漢辟支佛、知八万大劫、諸大菩薩、及知無量劫、孔老等イマク一世ノ

ウチノ前後ヲシラス、一生ニ生ノ宿通アランヤイカニイハンヤ一劫ヲシランヤイカニイハン  
ヤ百劫千劫ヲシランヤイカニイハンヤ八万大劫ヲシランヤイカニイハンヤ無量劫ヲシラン  
ヤコノ無量劫ヲアキラカニテラシレルコト、タナココロヲミルヨリモアキラカナル諸佛菩  
薩ヲ、孔老等ニ比類セン、愚闇トイフニモタラサルナリ、ミミチオホフテ三教一致ノ言ヲキクコ  
トナカレ、邪說中最邪說ナリ、

去一本世ニ  
作ル

莊子曰、貴賤苦樂、是非得失、皆是自然、コノ見ステニ西國ノ自然見ノ外道ノ流類ナリ、貴賤苦樂  
是非得失、ミナコレ善惡業ノ感スルトコロナリ、滿蒙引業ヲシラス、過去來世ヲアキラメサルカ  
ニニ、現在ニクヲシ、イカテカ佛法ニヒトシカラシアルカイハク、諸佛如來、ヒロク法界ヲ證ス  
ルユエニ、微塵法界、ミナ諸佛ノ所證ナリ、シカアレハ依正二報トモニ如來ノ所說トナリヌルカ  
ユエニ、山河大地、日月星辰、四倒三毒、ミナ如來ノ所說ナリ、山河ヲミルハ、如來ヲミルナリ、三毒四  
倒、佛法ニアラストイフコトナシ、微塵ヲミルハ法界ヲミルニヒトシ、造次頓沛、ミナ三菩提ナリ  
コレテ大解脱トイフ、コレテ單傳直指ノ祖道トナツク、カクノコトクイフトモカラ、稻麻竹葦ノ  
コトク、朝野ニ徧滿セリ、シカアレトモコノトモカラ、タレ人ノ兒孫トイフコトアキラカナク、  
スヘテ佛祖ノ道ヲシラサルナリ、タトヒ諸佛ノ所說トナルトモ、山河大地、タチマチニ凡夫ノ所  
見ナカルヘキニアラス、諸佛ノ所說トナル道理ヲナラハスキカサルナリ、ナンチ微塵ヲミルハ

ナカル一本  
ナルニ作ル

去一本世ニ  
作ル

法界ヲミルニヒトシトイフ、タミノ王ニヒトシトイハンカコトシ、マタナンソ法界ヲミテ微塵  
ニヒトシトイハサルコトモカラ、ノ所見チ佛祖ノ大道トセハ、諸佛出世スヘカラス、祖師出現  
スヘカラス、衆生得道スヘカラスナルナリ、タトヒ生即無生ト體達ストモ、コノ道理ニアラス、  
眞諦三藏云、震旦有二福、一無雜利、二無外道、コノコトハ、マコトニ西國ノ外道婆羅門ノ傳來セ  
ルナリ、得道ノ外道ナシトイフトモ、外道ノ見チオコストモカラ、ナカルヘキニアラス、羅刹ハイ  
マタミニス、外道ノ流類ハナキニアラス、小國邊地ノユエニ、中印度ノコトクニアラサルコトハ、  
佛法モワツカニ修習ストイヘトモ、印度ノコトクニ證チトレルナシ、  
古徳曰、今時多有還俗者、畏懼王役、入外道中、偷佛法義、竊解莊老、遂成混雜、迷惑初心、孰正孰邪、是爲  
發得韋陀法之見、シルヘシ佛法ト莊老トイツレカ、正イツレカ邪ヲシラス混雜スルハ、初心ノ  
トモカラテ迷惑スルイマノ智圓正受等コレナリ、タタ愚昧ノハナハタシキノミニアラス、稽古  
ナキノイタリ、顯然ナリ炳焉ナリ、近日宋朝ノ僧徒、ヒトリトシテモ、孔老ハ佛法ニオヨハストシ  
レルトモカラ、ナシナホ佛祖ノ兒孫ニナルトモカラ、稻麻竹葦ノコトク、九州ノ山野ニミテリ  
トイフトモ、孔老ノホカニ佛法スクレイテタリト曉了セル、一人半人アラス、ヒトリ先師天童古  
佛ノミ、佛法ト孔老トヒトツニアラスト曉了セリ、晝夜ニ施設セリ、經論師マダ講者ノ名アレント  
モ、佛法ハルカニ孔老ノ邊テ勝出セリト曉了セルナシ、近代一百年來ノ講者、オホク參禪學道ノ

トモカラノ儀チマナヒソノ解會チヌスマントスモトモアヤマレトイフヘシ孔子ノ書ニ生  
 知者アリ、佛教ニハ生知者ナシ、佛法ニハ舍利ノ說アリ、孔老舍利ノ有無チシラス、一ニシテ聖雜  
 セントオモフトモ廣說ノ通塞ツヒニ不得ナラン、論議云、生而知之上、學而知者次、困而學之、又其  
 次也、困而不學、民斯爲下矣、一モシ生知アラハ無因ノトガアリ、佛法ニハ無因ノ說ナシ、四禪比丘  
 ハ臨命終ノトキ、クチマチニ誘佛ノツミニ墮ス、佛法チモテ孔老ノ教ニヒトシトオモハン、一生  
 ノウチヨリ誘佛ノツミフカカルヘシ學者ハヤク佛法ト孔老ト一致ナリト邪計スル解チナケ  
 スツヘシコノ見タクハヘテステスハツヒニ惡趣ニ墮スヘシ學者アキラカコシルヘシ孔老ハ  
 三世ノ法チシラス、因果ノ道理チシラス、一洲ノ安立チシラス、イハンヤ四洲ノ安立チシランヤ、  
 六天ノコトナホシラス、イハンヤ三界九地ノ法チシランヤ、小千界チシラス、中千界チシルヘカ  
 ラス、三千大千世界チシルコトアランヤ、震旦一國ニナホ小臣ニシテ帝位ニ  
 ノホラス、三千大千世界ニ王タル如來ニ比スヘカラス、如來ハ梵天帝釋、轉輪聖王等、晝夜ニ恭敬  
 侍衛シ、恒時ニ說法チ請シタマツル、孔老ニカクノコトクノ徳ナシク、タコソ流轉ノ凡夫ナリ、  
 イマタ出離解脫ノ道チシラス、イカテカ如來ノコトク諸法實相チ究盡スルコトアラン、モシイ  
 マタ究盡セスハ、ナニヨリテカ世尊ニヒトシトセン、孔老内徳ナシ、外用ナシ、世尊ニオヨフヘ  
 カラス、三教一致ノ邪說チハカンヤ、孔老世界ノ有邊際無邊際チ通達スヘカラス、廣チミスシラ

ハ一本ルニ作ル

ス、大チシラスミサルノミニアラス、極微色チミス、刹那量チシルヘカラス、世尊アキラカニ極微  
 色チミ刹那量チシラセタマフ、イカコシテカ孔老ニヒトシメタマツラン、孔老、莊子、惠子等ハ  
 タタコレ凡夫ナリ、ナホ小乘ノ須陀洹ニオヨフヘカラス、イカコイハンヤ、第二第三第四ノ阿羅  
 漢ニオヨハンヤ、シカアルテ學者クタクキヨリテ、諸佛ニヒトシムル、迷中又迷迷ナリ、孔老ハ三  
 世チシラス、多劫チシラサルノミニアラス、一念シルヘカラス、一心シルヘカラス、ナホ日月天ニ  
 比スヘカラス、四大王衆天ニオヨフヘカラス、ナルリ、世尊ニ比セハ、世間、出世間ニ迷惑スルナリ、  
 列傳云、喜爲周大夫善星象、因見異氣、而東迎之、果得老子、請著書五千有言、喜欲從、求去、若欲  
 志心求去、當將父母等七人頭來、乃可得去、喜乃從教、七頭皆變豬頭、古徳云、然俗典孝、儒尙尊木像、老  
 聃設化、令喜害親、如來教門、大慈爲本、如何老氏、逆爲化原、ムカシハ老聃チモテ世尊ニヒトシム  
 ル邪黨アリ、イマハ孔老トモニ世尊ニヒトシシトイフ惡侶アリ、アハレマサラメヤハ、孔老ナホ  
 轉輪聖王ノ十善チモテ世間チ化スルニオヨフヘカラス、三皇五帝イカテカ金銀銅鐵諸轉輪王  
 ノ七寶千子具足シテアルセハ、四天下チ化シアルセハ、三千界チ領セルニオヨハン、孔老ハイマ  
 タコソニモ比スヘカラス、過現當來ノ諸佛諸祖、トモニ父母師僧三寶ニ孝順シ、病人等チ供養ス  
 ルチ化原トセリ、害親チ化原トセルイマ、タムカシヨリアラサルトコロナリ、シカアレハスナハ  
 チ老聃ト佛法トヒトツニアラス、父母殺害スルハ、カナラス、順次生業ニシテ、泥犁ニ墮スルコト

一木アラノ  
下ニスノ字  
ナシ

必定ナリ、タトヒ老聃ミタリニ虚無ヲ談スルトモ、父母ヲ害セシモノ生報チマヌカレサラン、  
傳燈錄云、二祖每歎云、孔老之教、禮術風規、莊易之書、未盡妙理、近聞達磨大士住止少林、至人不遠、當  
造玄境、イマノトモカラアキラカニ信スヘシ佛法ノ振旦ニ正傳セルコトハクシヒトヘコニ  
祖參學ノチカラナリ初祖タトヒ西來セリトモ、二祖チニスハ佛法ツタハレサラン、二祖モシ佛  
法ヲツクヘスハ、東地イマニ佛法ナカラン、オホヨソニ祖ハ餘輩ニ群スヘカラス、  
傳燈錄云、僧神光者、曠達士、久居伊洛、博覽群書、善談玄理、ムカシニ祖ノ群書ヲ博覽スルト、イマ  
ノ人書卷チミルト、ハルカニコトナルヘシ、得法傳衣ノノチモ、ムカシワレ孔老之教、禮術風規ト  
オモヒシハ、アヤマリナリトシメスコトバナシ、シルヘシニ祖ステコ孔老ハ佛法ニオヨフコト  
アラスト、通達セリ、イマノ遠孫、ナニトシテカ祖父ニ違背シテ、佛法ト一致ナリトイフヤ、マサニ  
シルヘシ邪說ナリト、二祖ノ遠孫ユアアラスハ、正受等ガ説タレカモチ、井ノ二祖ノ兒孫タルハ  
クハ、三教一致トイフコトナカレ、  
如來在世有外道名論力、自謂論議無學等者、其力最大、故曰論力、受五百梨昌募、撰五百明難、來難世  
尊、來至佛所、而奉問佛云、爲一究竟道、爲衆多究竟道、佛言、唯一究竟道、論力云、我等諸師、各說有究竟  
道、以外道中各自謂是、毀訾佛法、互相是非、故有多道、世尊其時已化鹿頭、成無學果、在佛邊立、佛問  
論力、衆多道中誰爲第一、論力云、鹿頭第一也、佛言、其若第一云、何捨其道、爲我弟子、入我道中、論力見

大論知ヲ智  
ニ作り明ヲ  
勝ニ作ル  
一本スナノ  
上ニコレノ  
二字アリ

既慚愧低頭、歸依入道、是時佛說義品偈曰、各各謂究竟、而各自變著、各是自非佗、是皆非究竟、是人入  
論衆、辨明義涅槃、各各相是非、勝負懷憂喜、勝者墮慢抗、負者墮憂獄、是故有智者、不墮此二法、論力汝  
當知我諸弟子法、無虛亦無實、汝欲何處求、汝欲壞我論、終已無此處、一切知難明、還是自毀壞、イマ  
世尊ノ金言ソレカクノコトシ、東土愚暗ノ衆生、ミタリニ佛教ニ違背シテ、佛道トヒトシキ道ア  
リトイフコトナカレ、スナハチ、謗佛謗法トナルヘキナリ、西天ノ鹿頭、竝論力、乃至長爪梵志、先尼  
梵志等ハ、博學ノ人タリ、東土ニムカシヨリイマタナシ、孔老サラニオヨフヘカラサルナリ、コレ  
ラミナミツカラカ道チステテ、佛道ニ歸依ス、イマ孔老ノ俗人チモテ、佛法ニ比類センハ、キカン  
モノモツミアルヘシ、イハシヤ、阿羅漢辟支佛モ、ミナツヒニ菩薩トナル、一人トシテモ小乘ニシ  
テチハルモノナシ、イカテカイマタ、佛道ニイラサル孔老チ諸佛ニヒトシトイハシヤ、大邪見ナ  
ルヘシ、オホヨソ、如來世尊、ハルカニ一切ヲ超越シマシマス、コトスナハチ、諸佛如來、諸大菩薩、梵  
天帝釋、ミナトモ、ホメタマツリシリタマツレルトコロナリ、西天二十八祖トモ、ニシレル  
トコロナリ、オホヨソ、參學ノチカラアルモノ、ミナトモ、ニシレリ、イマ、澆運ノ衆生、宋朝愚暗ノト  
モカラノ、三教一致ノ狂言モチ、井ルヘカラス、不學ノイタリナリ、  
正法眼藏四禪比丘

建長七年乙卯夏安居日以御草案本書寫畢

懷煇

正法眼藏唯佛與佛

佛法ハ人ノシルヘキニハアラスコノユニムカシヨリ凡夫トシテ佛法ヲサトルナシニ乗ト  
 シテ佛法ヲキハムルナシヒトリ佛ニサトラルルユニ唯佛與佛乃能究盡トイフソレヲキハ  
 メサトルトキワレナカラモカテヨリサトリトハカクコソアラメトオモハルルコトハナキ  
 ナリタトヒオボユレトモソノオホユルニシカハ又サトリニテナキナリサトリモオボニシカ  
 コトクニテモナシカクアレハカチテオモフソノ用ニタツヘキニアラスサトリ又ルチリハイ  
 カニアリケルユニサトリタリトオホニ又ナリコレニテカヘリミルヘシサトリヨリサキニ  
 トカクオモヒケルハサトリノ用ニアラストサキノサマサマオモフオモヒノヤウニアラサリ  
 ケルハオモヒノマコトニアシクテソノチカラノナキニテハナシコシカタノオモヒモサナカ  
 ラサトリニテアリケルチソノチリハサカサマニセントシケルユニチカラノナキトハオモ  
 ヒモイヒモスルナリ用ニアラストオホユルコトハシルヘキトコロカナラズアリイハユルチ  
 ヒサクハナラシトオンレケルモシサトリヨリサキノオモヒチカラトシテサトリノイテコ  
 ソハタノモシガラヌサトリニテアリヌヘシサトリヨリサキニチカラトセスハルガユコエテ  
 キタレルユニサトリトハヒトスチニサトリノチカラユノミタスケラルマトヒハナキモノ  
 ソトモシルヘシサトリハナキコトソトモシルヘシ無上菩提ノ人ニテアルナリコレヲホトケ



トコロ一本  
トコロワ  
ノ五字ニ作  
ル

トイフ、ホトケノ無上菩提ニテアルトキ、コレヲ無上菩提トイフ、コノ道ニアルトキノ面目シラ  
サランハ、オロカナリヌヘシ、イハユルソノ面目ハ、不染汚ナリ、不染汚トハ、趣向ナク、取舍ナカラ  
ントシヒ、アイトナミ、趣向ニアラサラントコロツクロトスルニハアラヌナリ、イカニモ趣向セ  
ラレス、取舍セラレヌ、不染汚ノアルナリ、タトヘハ人ニアフニ、面目ノイカヤウナルトオホニ、又  
華ニモ月ニモイマヒトツノ光色ヲオモヒカサテ、又春ハタタ春、ナカラノココロ、秋モマタ秋、ナ  
カラノ美惡ニテ、ノカルヘキニアラヌナリ、ワレニアラサラントスルニハ、ワレナルニテモオモヒ  
シルヘシ、コノハルアキノコエツレナラントスルニモ、ワレニアラサルニテモカヘリミルヘシ、  
ワレニツモレルニテモナシ、イマモワレニアルオモヒニテモナキナリ、ソノココロハ、イマノ四  
天五蘊、オノオノワレトスヘキニテモアラヌ、タレトタドルヘカラス、シカアレハ、華月ノモヨホ  
ス心ノイロ、マタ我トスヘキニアラヌナリ、ワレトオモフワレニアラヌナリ、ワレトオモフモサモア  
ラハアレソムクヘキカタノイロモオモムクヘキカタノソメテレヌヘキモナシトアラヌトキ、  
オノツカラ道ニアル行履モカクレサリケル本來ノ面目ナリ、フルキ人ノイハク、盡大地コレ自  
己ノ法身ニテアレトモ、法身ニサヘラレサルヘシ、モシ法身ニサヘラレヌルニハ、イササカ身ヲ  
轉セントスルニモカナハス、出身ノ道アルヘシ、イカナルカコレ諸人ノ出身ノ道トモシ、コノ出  
身ノミチチイハサランモノハ、法身ノイノチモタチニタエテ、ナカク苦海ニシツミヌヘシ、

カクノコトクトハ、ンニイカニトイハ、ンカ、法身ヲモイケ、苦海ニモシツマサルヘキト、コノトキ  
イフヘシ、盡大地自己ノ法身ナリトモシ、コノ道理ニテアラノ、盡大地自己ノ法身トイフナリ、ハ  
イハレヌ、マタイハ、ンサラントキ、フツトイハヌトヤ、ココロウヘキ、イハヌ古佛ノイヘルコトア  
リ、死ノナカニイケルコトアリ、イタルナカニ死セルコトアリ、死セルカツ子ニ死セルアリ、イケ  
ルカツ子ニイケルアリ、コレ人ノシヒテシカアラシムルニアラス、法ノカクノコトクナルナリ、  
シカアレハ、法輪ヲ轉スルナリ、モカクノコトクノヒカリアリ、コエアリ、現身度生ニモシカアリ  
トシルヘシ、コレヲ無生ノ知見トイフ、現身度生トハ、度生現身ニテアリケルナリ、度ニムカヒ  
テ現チタトラス、現チミルニ度チアヤシムコトナカルヘシ、コノ度ニ佛法ハキハメツクセリト  
ココロウヘシトクヘシ、證スヘシ、現ニモ身ニモ度ノコトクニアリケルトキクナリトクナリ、コ  
レモ現身度生ノシカアラシメケルトナリ、コノムチヲ證シケルニソ、得道ノアシタヨリ、涅槃ノ  
ユフヘニイタルマテ、一字ヲモトカサリケルトモトカルルコトハ、自在ナリケル、古佛イハク、  
盡大地是眞實人體ナリ、盡大地是解脫門ナリ、盡大地是毗盧一隻眼ナリ、盡大地是自己法身ナリ、  
イハユルココロハ眞實トハ、マコトノ身トナリ、盡大地ヲワレラカカリニアラサリケルマコト  
シキ身ニテアリケルトハ、シルヘシ、ヒゴロハ、ナニトシテカシラサリケルトトフ人アラハ、盡大  
地是眞實人體トイヒツルコトナラニカヘセトイフヘシ、マタ盡大地是眞實人體トハ、カクノ

コトクシルトモイフヘシマタ盡大地是解脱門トハイカニモマツハレカカフルコトナキニナ  
ツクルナリ盡大地ノコトバハトキニモトシヨモコロニモコトハニモシタシクシテヒマナ  
ク親密ナリカキリナクホトリナキテ盡大地トイフヘキナリコノ解脱門ニイテソトチモト  
メイテソコトチモトメンニマタウヘカラサルナリナニトシテカクノコトクナル發問チカヘ  
リミルヘシアラストコロチタツテハヤトオモハシニモカナフヘカラサルモノナリマタ盡大  
地ハコレ毗盧ノヒトツノマナコナリトハ佛ハヒトツノマナコトイヘルカナラスシモ人ノマ  
ナコノヤウニアラソスルトハオモハサレ人ニモ目コソハフタツモアレマナコチイフトキハ  
人眼トハカリイヒテフタツトモミツトモイハヌナリ教チマナフモノノ佛眼トイヒ法眼トイ  
モ天眼ナトトイフモ目ニテアリトハナラハヌナリ目ノヤウニアラソシレルチハハカナキ  
トイフイマハタタ佛ノ眼ヒトツニテ盡大地アリケルトキクヘシ千眼モアレ万眼モアレマツ  
シハラク盡大地カソノナカノヒトツニテアルトナリカクオホカルナカニヒトツソトイフモ  
トガナシマタ佛ニハタタマナコハヒトツノミアリトシルモアヤマラスマナコハサマサマア  
ルヘキソカシミツアルモアリ千眼アルモアリ八万四千アリトイフコトモアレハマナコノカ  
クノコトクナリトキキテ耳シオトロカサルヘシマタ盡大地ハミツカラ法身ナリトキクヘシ  
ミツカラチシランコトチモトムルハイケルモノノサタマレル心ナリシカアルトモマナコノ

ミツカラチハミルモノマレナリヒトリ佛ノミコレチシレリソノホカノ外道等ハイタツラニ  
アラヌキノミワレトオモフナリ佛ノイフミツカラハスナハチ盡大地ニテアルナリシカアレ  
ハミツカラトシルモシラヌモミナトモニオノレニアラヌ盡大地ハナシニトキノコトハカ  
ノトキノ人ニユツルヘシムカシ僧アリテ古徳ニトフ百千万境一時ニキタラントキイカカ  
スヘキ古徳イハク莫管佗イフココロハキタラソコトハサモアレハアレトモカクモウコカス  
ヘカラストナリコレスミヤカナル佛法ニテアリ境ニテハナシコノコトハチハ烟誠トハユコ  
ロウヘカラス諦實ニテアリトコロウヘシイカニモ管スルカトスレハ管セラレサリケルナ  
リフルキ佛ノイハク山河大地ト諸人トオナシクウマシ三世ノ諸佛ト諸人トオナシクオコナ  
ヒキタレリシカアレハスナハチ一人ウマルルチリニ山河大地ヲミルニコノ一人カウマレサ  
リツルサキヨリアリケル山河大地ノウヘニイマヒトヘカサテテウマレイツルトミヘスシカ  
アレハトテモマタフルキコトハノムナシカルヘキニハアラスイカココロウヘキココロ  
ニラソストテサシオクヘキニハアラテハカナラスココロウヘシトオモフヘシステニトケル  
コトハニテアレハキクヘシキキテハマタココロウヘキナリコレチココロエンヤウハコノウ  
マルル一人カカタヨリコノ生チタツヌルニコノ生トイフコトハイカニアルコトトハシメテ  
ハリアキラメケル人ハタレソチハリモハシメモシテサレトモウマレキタレリソレタタ山河

大地ノキハモシラサレトモ、ココチハミルコトコロチハフミアリクカコトシ生ノコトクニ  
 アラヌ山河大地ヨトウラムルオモヒナカレ、山河大地チヒトシキワカ生ナリトイヘリケリト  
 アキラムヘシ、マタ三世諸佛ハステニオコナヒテ道チモナリサトリモチハレリ、コノ佛ト我ト  
 ヒトシトハ、マタイカニカコロウヘキ、マツシハラク佛ノ行チココロウヘシ、佛ノ行ハ、盡大地  
 トオナシクオコナヒ、盡衆生トモニオコナフ、モシ盡一切ニアラヌハイ、マタ佛ノ行ニテハナシ  
 シカアレハココロチオコスヨリサトリチウルニイタルマテカナラス、盡大地ト、盡衆生トサト  
 リモオコナヒモスルナリ、コレニイカニカウタガフオモヒモアルヘキニシ、ラレヌオモヒモマ  
 シルニニタルチアキラメントテ、カクノコトクノコエノキコユルモ、人ノヤウトハアヤシマサ  
 ルヘシ、コレハココロウルチシヘニテハ、三世ノ諸佛ノココロチモオコシ、オコナフハカナラス  
 ワレチカ身心チハモラサヌコトハリノアルナリトシルヘシ、コレチウタカヒオモフハ、ステ  
 ニ三世ノ諸佛チソシルナリ、シツカニカヘリミレハ、ワレチカ身心ハ、マコトニ三世ノ諸佛トオ  
 ナシクオコナヒケル道理アリ、發心シケル道理モアリヌヘクミユルナリ、コノ身心ノサキノチ  
 チカヘリミテラセハ、タツヌヘキ人ノワレニアラス人ニアラサランコハ、ナノトトコホルト  
 コロトシテカ、二世ニハヘタダレリトオモハン、コノオモヒドモ、シカシナカラワレニアラス、ナ  
 ニトテカハ、マタ三世諸佛ノ本心ノ所行道ノトキチハサヘントハスヘキシ、ハラク道ハ知不知

論一本座  
ニ作ル

ニハアラヌトハナツクヘシ、フルキ人ノイハク、撲落モ佗物ニアラス、縦横コレ論ニアラス、山  
 河オヨヒ大地スナハチ全露法王身ナリ、イマノ人モムカシノ人ノイヘルカコトクナラフヘシ  
 ステニ法王ノ身ニテアリシカレハ、撲落モコトナルモノニハアラサリケルトココロウル法王  
 アリケル、ココロハ、山ノ地ニアルカコトシ、地ノ山チノセテアルニニタリ、ココロウルニコ  
 コロエサリツルチリノキタリテ、ココロウルチサマダケス、マタココロウルガココロエサリツ  
 ルチヤフルコトモナクシテ、シカモココロウルトココロエヌトノハルノココロアキノコエア  
 リソレチモココロエサリツルハ、聲オホキニシテトキケルソノコエ耳ニイラス、耳コエノナカ  
 ニアソヒアリケル、ココロウルハコエステニ耳ニイリテ、三昧アラハルチリニテアルヘシ、  
 コノココロウルハチヒサク、ココロエヌハオホキニテアリケルトモオモハサルヘシ、ワタクシ  
 ニオモヒニタルコトニハアラチハ、法王ノカクノコトクナリケルトシルヘシ、法王ノ身トハ、マ  
 ナコモ身ノコトクニアリココロモ身トヒトシカルヘシ、ココロトミト、一毫ノヘタテナク全露  
 ニテアルヘシ、光明ニモ說法ニモカミニイフカコトクニ、法王身ニテアリト、ココロウルナリム  
 カシヨリイヘルコトアリ、イハユルウチニアラサレハ、ウチノココロチシラス、トリニアラサレ  
 ハ、鳥ノアトチタツチカタシ、コノコトワリチモヨクシレル人マレナリ、人ノ魚ノココロチシラ  
 スト、人ノトリノココロチシラヌトノミオモヘルハ、アシクシレリ、コレチシルヤウハ、魚ト魚ト

一本法ノ下  
ニニノ字ナ  
シ

本光云九漸  
ハ猶ホ九淵  
ノ如キ乎

ハカナラズアヒクカヒニソノコロチシルナリ、人ノヤウニシラヌコトハナクテ、龍門ヲサカ  
ノホラントオモフニモトモニシラレ、オナシクコロチヒトツニスルナリ、九漸ヲシノクコロ  
ロモカヨヒシラルナリ、コレヲウテニアラヌハシルコトナシ、マダ鳥ノ空ヲトヒヌルチハイカ  
ニモユクケタモノハコノアシノアトチシリ、コノアトチミダツヌルコトハ、夢ニモイマダオ  
モヒコラスサアリトシラチハオモヒヨルタメシモナシ、シカアルチ鳥ハヨクチヒサキ鳥ノイ  
ク百千ムラカレスキニケル、コレハオホキナル鳥ノイクツラミナミニサリキタニトヒニケル  
アトヨトカスカスニミルナリ、車ノアトノミチニノコリ、馬ノアトノクサニミユルヨリモカク  
レナシ、鳥ハ鳥ノアトチミルナリ、コノコトワリハ佛ニモアリ、佛ノイクヨニオコナヒスキニ  
ケルヨトオモハレチヒサキ佛オホキナル佛、カスニモレヌルカスナカラシルナリ、佛ニアラサ  
ルチリハイカニモシラサルコトナリ、イカニシラサルソトイフ人モアリヌヘシ、佛ノマナコニ  
アソノアトチミルヘキカユエニ、佛ニアラヌハ佛ノマナコチソナヘス、佛ノモノカソフルカス  
ナリ、シラチハズヘテ佛ノミチノアトチハタトリヌヘシ、コノアトモシメニハ、佛ニアアル  
ヤラントアシノアトチモタクラフヘシ、タクラフルトコロニ、佛ノアトモシラレ、佛ノアトノ長  
短モ淺深モシラレ、ワカアトノアキラメラルルコトハ、佛ノアトチハカルヨリウルナリ、コノア  
トチウルチ佛法トハイフナルヘシ、

正法眼藏唯佛與佛

弘安十一年季春晦日於越州吉田縣志比庄吉祥山永平寺知實寮南軒書寫之

正法眼藏八大人覺

諸佛是大人也、大人之所覺知、所以稱八大人覺也、覺知此法、為涅槃因、我本師釋迦牟尼佛、入涅槃夜、最後之所說也、

一者少欲、於彼未得五欲法中、不廣追求、名為少欲、佛言、汝等比丘、當知多欲之人、多求利故、苦惱亦多、少欲之人、無求無欲、則無此患、直爾少欲、尚應修習、何況少欲能生諸功德、少欲之人、則無陷曲以求人意、亦復不為諸根所牽、行少欲者、心則坦然、無所憂畏、觸事有餘、常無不足、有少欲者、則有涅槃、是名少欲、

二者知足、已得法中、受取以限、稱曰知足、佛言、汝等比丘、若欲脫諸苦惱、當觀知足、知足之法、即是安樂安穩之處、知足之人、雖臥地上、猶為安樂、不知足者、雖處天堂、亦不稱意、不知足者、雖富而貧、知足之人、雖貧而富、不知足者、常為五欲所牽、為知足者之所憐愍、是名知足、

三者樂寂靜、離諸憒鬧、獨處空閒、名樂寂靜、佛言、汝等比丘、欲求寂靜、無為安樂、當離憒鬧、獨處閒居、靜處之人、帝釋諸天、所共敬重、是故當捨己眾、佗眾、空閒獨處、思滅苦本、若樂眾者、則受眾惱、譬如大樹、眾鳥集之、則有枯折之患、世間縛著、沒於眾苦、譬如老象溺泥、不能自出、是名遠離、

四者勤精進、於諸善法、勤修無間、故云精進、精而不雜、進而不退、佛言、汝等比丘、若勤精進、則事無難者、是故汝等當勤精進、譬如少水常流、則能穿石、若行者之心、數數解廢、譬如鑽火未熱而息、雖欲得

火火難可得是名精進

五者不忘念(亦名守正念、守法不失、名為正念、亦名不忘念) 佛言、汝等比丘、求善知識、求善護助、無如不忘念、若不忘念者、諸煩惱賊、則不能入、是故汝等、常當攝念在心、若失念者、則失諸功德、若念力堅強、雖入五欲賊中、不為所害、譬如著鐵入陣、則無所畏、是名不忘念  
六者修禪定(住法不亂、名曰禪定) 佛言、汝等比丘、若攝心者、心則在定、心在定故、能知世間生滅法相、是故汝等、常當精進、修習諸定、若得定者、心則不散、譬如惜水之家、善治堤塘、行者亦爾、為智慧水故、善修禪定、令不漏失、是名為定

七者修智慧(起聞思修證為智慧) 佛言、汝等比丘、若有智慧、則無貪著、常自省察、不令有失、是則於我法中、能得解脫、若不爾者、既非道人、又非白衣、無所名也、實智慧者、則是度老病死海、堅牢船也、亦是無明黑暗大明燈也、一切病者之良藥也、伐煩惱樹之利斧也、是故汝等、當以聞思修慧、而自增益、若人有智慧之照、雖是肉眼、而是明見人也、是名智慧  
八者不戲論(證離分別、名不戲論、究竟盡實相、乃不戲論) 佛言、汝等比丘、若種種戲論、其心則亂、雖復出家、猶未得脫、是故比丘、當急捨離亂心戲論、若汝欲得寂滅樂者、唯當善滅戲論之患、是名不戲論  
コノ八大人覺ナリ、一一各具八、スナハチ六十四アルヘシ、ヒロクスルトキハ、無量ナルヘシ、客スレハ六十四ナリ、大師釋尊、最後之説、為大乘之所教誨、二月十五日夜半ノ極唱、コレコロノチ、サラ

ニ説法シマシマス、ツヒニ般涅槃シマシマス、

佛言、汝等比丘、常當一心勤求出道、一切世間動不動法、皆是敗壞不安之相、汝等且止、勿得復詰、時將欲過、我欲滅度、是我最後之所教誨、コノユエニ、如來ノ弟子ハ、カナラスコレテ、習學シタマツルコソテ、修習セス、シラサラ、ンハ、佛弟子ニアラス、コレ如來ノ正法眼藏涅槃妙心ナリ、シカアルニイマシラサルモノハ、オホク見聞セルコトアルモノハ、スクナキハ、魔嬖ニヨリテ、シラサルナリ、マタ宿殖善根ノスクナキキカス、ミスムカシ正法像法ノアヒタハ、佛弟子ミナコレテ、シレリ、修習シ參學シキイマハ、千比丘ノナカニ一兩箇ノ八大人覺シレルモノナシ、アハレムヘシ、洗季ノ陵夷、タトフルニモノナシ、如來ノ正法、イマ大千ニ流布シテ、白法イマタ滅セサントキイソキ、習學スヘキナリ、緩急ナルコトナカレ、佛法ニアヒタマツルコト、無量劫ニモカタシ、人身ヲウルコトモ、マタカタシ、タトヒ、人身テウクトイヘトモ、三洲ノ人身ヨシ、ソノナカニ、南洲ノ人身スクレタリ、見佛聞法、出家得道スルユエナリ、如來ノ般涅槃、ヨリサキニサキクテ、死セルトモ、カラハ、コノ八大人覺、チキカス、ナラハ、スイマワレラ見聞シタマツリ、習學シタマツル、宿殖善根ノチカラナリ、イマ習學シテ、生生ニ增長シ、カナラス、無上菩提ニイタリ、衆生ノタメニ、コレヲトカノコト、釋迦牟尼佛ニヒトシクシテ、コトナルコトナカラン、  
正法眼藏八大人覺

建長五年正月六日書于永平寺

如今建長七年乙卯解制之前日、令義演書記書寫畢、同一校之、右木 先師最後御病中之御草也、  
仰以前所撰假字正法眼藏等皆書改、竝新草具、都虛一百卷可撰之云云、既始草之御此卷、當第十  
二也、此後御病漸漸重增、仍御草案等事即止也、所以此御草等 先師最後之教也、我等不幸而  
不拜見一百卷之御草、尤所恨也、若奉懸慕 先師之人、必書此卷、而可護持之、此 釋尊最後之教  
敕且 先師最後之遺教也

懷失記之

正法眼藏 六尾

紙數	八	一七	三〇	同	四七	五〇	五〇	五五	六三	六四	六五	六七	七〇	七二
行數	七	一	一〇	一一	二	一一	二	二	四	五	一四	九	一〇	八
誤	坐禪	辦道	五古	互今	竿ノ	婆娑	震且	震且	粗因	旨越	ヲ三	不隨	佗人	陀佛
正	坐禪	辦道	互古	互今	竿ノ	婆娑	震且	震且	粗因	旨越	ヲミ	不墮	佗人	佗佛
紙數	八〇	同	八三	九七	一〇五	一一一	同	同	一一二	一一五	一二六	一二七	一四七	同
行數	一二	同	二	一一	一	二	三	三	九	三	九	一五	七	一二
誤	互古	互今	柱杖	製	毒蟲	震且	震且	震且	舍利	舍利	袈裟	即德	與論	果和
正	互古	互今	柱杖	袈裟	毒蟲	震且	震且	震且	舍利	舍利	袈裟	即得	與佛	果和
紙數	一四九	一五〇	一五九	一八三	一八七	同	一九八	同	二〇六	同	二〇九	同	二二八	二二七
行數	六	四	五	八	一二	一四	一五	一	二	二	四	同	九	一五
誤	且過	于時	悟人	黃帝	處設	己ノ	得摩	互古	互今	互今	裁松	裁松	圓月	觀音
正	且過	于時	悟入	黃帝	處設	己ノ	得摩	互古	互今	互今	裁松	裁松	圓月	觀音

正誤

正誤

三二二	三三一	三〇三	二九八	二九七	二七七	二七六	二五九	同	二五一	二四一	二三九	二三八	二三六
七	一三	九	五	一三	一五	一四	一五	一〇	九	六	四	九	一四
盧山	宗宣	ヨ	解	座	憲	者	證	互	互	互	焔	法	方
盧山	宣宗	コ	解	坐	寶	者	證	互	互	互	焔	法	方
同	四四一	四一七	三八九	三八三	三七五	三五〇	同	三四二	三三九	三三一	三二九	三二二	同
一三	七	一	一四	二	三	一	六	一	六	三	七	六	一五
經山	說姓	何敢	金色	眼藤	廚車	八方	鎮帝	唯帝	不訂	莊課	佛字	洞沙	誤
徑山	說性	何敢	金色	眼藏	廚庫	八方	鎮常	唯常	不言	莊課	佛字	河沙	正
同	同	同	同	同	同	同	同	五〇八	四九四	四九三	同	四八八	四八一
同	同	一五	同	一三	同	同	同	一二	一	五	一三	二	一〇
他羅	他羅	大他	大他	大他	大他	大他	大他	大他	問著	卿木	木意	三寶	吾道
陀羅	陀羅	大陀	大陀	大陀	大陀	大陀	大陀	大陀	問著	卿木	木意	三寶	悟道

二

五六九	同	同	五六八	五五四	五五一	五四五	五四〇	五二四	五二〇	五一一	五一〇	同	五〇九
一	同	一三	八	六	二	三	二	一三	三	八	一	同	一
帝卿	化議	帝卿	互天	佛子	婆娑	骨隨	舊板	與隆	感旨	トモ	陀羅	他羅	他羅
帝卿	化儀	帝卿	互天	佛子	婆娑	骨隨	舊枝	與隆	意旨	トモ	陀羅	陀羅	陀羅
六八〇	六六〇	六五六	六三八	六二〇	六一九	六〇二	六〇一	同	五九九	五九四	五八七	五七七	五六九
六	二	一二	一二	九	一四	四	四	六	五	一四	四	一	一
食頃	鞋雅	狐獨	染汗	柱杖	造	木期	四	結珈	結珈	舍利	千佛	懸崖	迴迴
食頃	鞋雅	狐獨	染汚	拄杖	造次	本期	四	結珈	結珈	舍利	千佛	懸崖	迴迴
											七二二	六九二	
											三	一	
											增祇	阿舍	
											僧祇	阿舍	

正誤

三



明治十八年八月三日出版御届  
同 同十八日出版

(定價金壹圓七拾錢)

授正兼出版人

東京府平民

大内青巒

麻布區麻布本村  
町百九十四番地

東京佛教書肆

鴻盟社

京橋區南鍋町  
壹丁目六番地

同三十間堀町壹丁目

明教社

同飯倉五丁目

森江佐七

東京西紺屋町

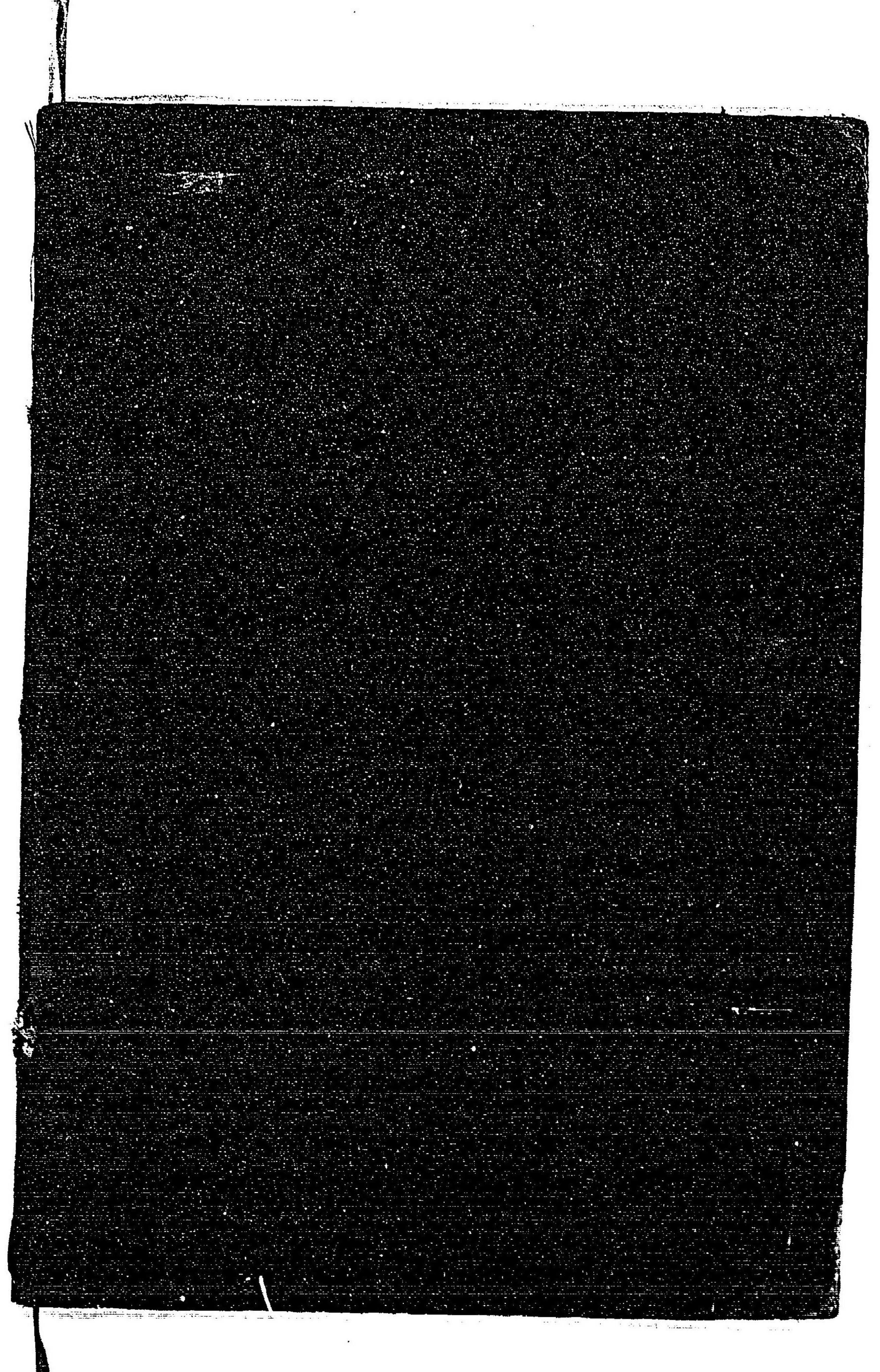
秀英舍

發行所

賣捌所

同

印刷所





019519-000-4

27-131

正法眼藏

大内 青巒/校

M18.8

ABG-0247

